

# 日本企業におけるデータ活用の成果 (Gartner, 2024)



- 全社的に成果が出ている (3%)
- 苦戦中・成果なし (97%)

# 株式会社Review

設立	2016年3月
資本金	112,620,000円 (準備金 100,620,000円)
事業内容	データDXサービス「macci」の運営・企画・開発 IT×人によるオリジナルクレンジング技術の提供
本社所在地	大阪市中央区瓦町4丁目4-7 おおきに御堂筋瓦町ビル8F
従業員	約6,500名 (登録スタッフ含む)
株主構成	藤本茂夫(代表取締役CEO) 株式会社ディスラプターズ 株式会社オープンハウス 幾望投資事業有限責任組合 無限責任組合員 StarshotPartners 合同会社 おおさか社会課題解決投資事業有限責任組合 株式会社リゾーム オフィスナビ株式会社 株式会社プレシャス・タイム 他4名
URL	<a href="https://re-view.jp/">https://re-view.jp/</a>

# データ市場の課題

不確かな情報”が社会全体の  
時間を奪っている

## 生活のムダ

- 店に行ったら → 閉店していた
- 病院に行ったら → 受付終了
- 在庫があるはずが → 棚が空
- ネットの営業時間 → 古い情報のまま
- イベントが中止 → 公式HP未更新

## ビジネスの損失

- 訪問したら → 移転・担当退職
- テレアポしたら → 電話不通
- 1万通DM → 10%以上宛先不明
- 調査した店舗 → 閉店していた
- データを元に出店 → 競合ばかり

**古いデータ=大きなコストに**

# なぜ、データは「現実」を映せないのか？

情報源が分断され、それぞれの時計・ルールで動いている

公式サイト

⌚ 更新:△ 活用性:△

SNS

⌚ 更新:○ 活用性:×

行政

⌚ 更新:○ 活用性:×

不動産・商業

⌚ 更新:○ 活用性:△

Googlemap

⌚ 更新:△ 活用性:△

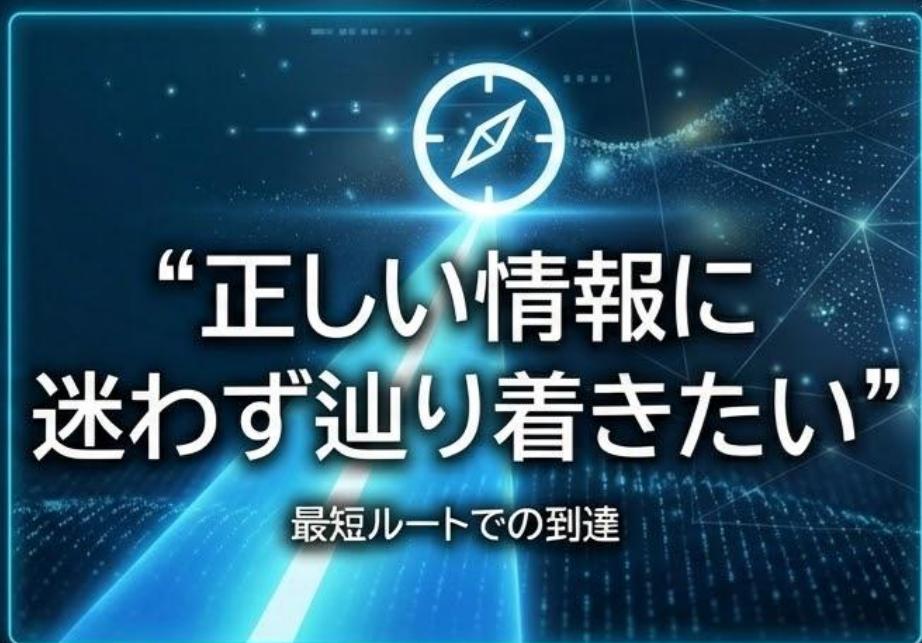
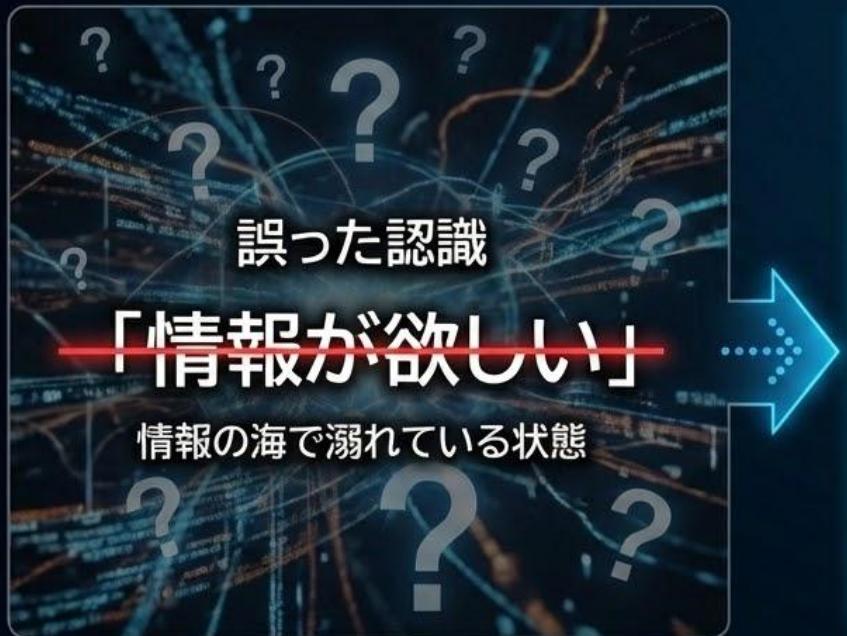
口コミサイト

⌚ 更新:○ 活用性:×

更新タイミングの不一致

“現実の変化を反映しきれていない”

# 解決すべき“本当の課題”





この状況を私たちは解決したい

この状況を私たちは解決したい

# データ市場の課題



## 1.“人”が集める

現場のリアルな情報

“不確かな情報”が社会全体の  
時間を奪っている



## 3.“人”が創る

価値への昇華

## 2.“AI”が繋ぐ

結合・分析・体系化



# “オンリーワン”的データ

タイムリーに

全国網羅的に

あらゆる角度で

# AIと人が融合するからこそ、実現できる価値



# 1.“人”が集める

数千名のスタッフがデータ収集

## 行政系データの収集



数千パターンある行政の公開情報

を毎月、手作業で収集・管理



## 現地ラウンド調査



現地に行かなければ分からぬ

様々な街中の現在の情報を調査





## 2. “AI”が繋ぐ

結合・分析・体系化

紙面などで集められた数百パターンの情報を独自の技術でデータベース化し、あらゆる活用シーンで対応できる数十項目のデータに構築



紙面をデータ化

データベースの正規化

信頼性の高い情報付与



## 3.“人”が創る

価値の昇華

人による品質保証



人間の検証を経た、“高精度で信頼性の高いデータ”を提供。

事業判断に直結、AIの「速さ」と、人間の「真実」。

## 現状の課題



不定期／WEB中心  
情報更新の確実性が低い



素材のまま提供  
ITチェック→不備多数



最新性が不確定  
いつ取得したデータか不明

## Reviewのデータベース



### 毎月更新

全国数千パターンの公開情報、  
現地リアル情報報を収集



紙面まで処理・正規化済み  
構造化されたデータで活用しやすい



AIと人のダブルチェック  
精度向上・信頼性保証

# 全国 飲食店 数



で検索した場合

## ネット検索

Google 全国 飲食店 数

AI モード すべて

◆ AI による概要

2024年末時点での全国の飲食店舗数は約100万店舗で、前年同期比11.8%増となりました。これは、フルサービスレストランの増加が全体の増加を牽引した結果です。ただし、2023年7月時点では前年同期比9.1%減の約83万店舗という調査もあり、調査時期や定義によって数値が変動します。

**最近のデータ**

- 2024年12月時点:約100万店舗 (前年同期比11.8%増)
- 2023年7月時点:約83万店舗 (前年同期比9.1%減)

**指標の変動要因**

- 店舗数の増加:2024年後半はフルサービスレストランの増加が顕著です。
- 店舗数の減少:2023年7月時点の減少は、小規模店の減少や、新型コロナウイルス関連の補助金終了後の経営環境の厳しさなどが影響しています。

## 最近のデータ

2024年12月時点:約100万店舗

2023年7月時点:約83万店舗



2026年1月22日現在

## Review DBでの検索結果

飲食店

900,495

運営法人数

337,774

リアルタイム性、網羅性、正確性

# ユースケース × 業界事例



アタックリスト



市場分析  
マーケティング



システム開発  
サービス連携



自社データと連携  
クレンジング・名寄せ



政策立案企画  
エビデンスデータ

IT・通信

小売チェーン

IT・通信

不動産

自治体

広告

金融・保険

飲料  
メーカー

IT・通信

行政

決済

不動産  
駐車場

物流

ポータル  
サイト

金融・保険

店舗DX

# ご導入実績 一部抜粋



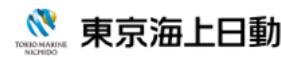
SUNTORY



Rakuten ぐるなび



CAREER INDEX



J:COM

価格.com



OFFICE NAVI オフィスナビ®



ZENRIN DataCom



GMO  
INTERNET GROUP

CREDIT SAISON

Daiohs®

akippa

しかし…

ヘヘヘ…

# assignment

## サブスク主流の市場課題

高額すぎる

いつの情報？

網羅性に疑問



# 日本のビジネスにおける“データ格差”

## 現在のデータ市場の壁

高額なサブスクリプション  
(一部の企業しか手が出せない)

不明瞭なデータ品質  
(鮮度? 網羅性? → 不明)



豊富な資金を持つ大企業



熱意ある中小企業・スタートアップ



最新・高品質なデータにアクセス



古い・低精度なデータで戦うしかない

→ 効率的な活動・機会の最大化

→ 機会損失・非効率な労働



この格差をなくしたい

この格差をなくしたい



YOROZU DATA



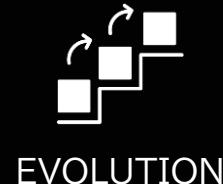
All-in Data Platform

# データベース事業の進化と未来

  現在のReview DB

形態	API連携/CSV納品/システム提供
課金	サブスクリプション/データ購入
対象	特定のニーズを持つ企業

Target  
B2B/プロフェッショナル利用



  YOROZU DATA

形態	サイト閲覧無料/アクセス自由
課金	1件数円から購入可能
対象	個人から大企業まで利用

Target  
B2B、B2C、B2G/全レイヤー対応

# Future Roadmap



## グローバル展開

自動翻訳化を推進。

国境を超えて活用されるグローバルサービスへ昇華。

# Future Roadmap



様々な企業のデータベースを  
YOROZU DATAとの連携を計画。



## DB アライアンス

様々な企業のデータベースを  
YOROZU DATAとの連携を計画。

## 情報のハブとして機能拡大

弊社データも存分にご活用ください

# Review



ご清聴ありがとうございました。

またぜひこの続きをディスカッションさせてください。